

**増やす**

市町村の努力と合わせて、県内全市町村で高校3年生(18歳)まで医療費助成が受けられる展望を開く。



年間12万8000円を支払っている重度障害の方がいます。4万3000人の通院一回・入院一日300円の窓口負担をなくす。

2018年度予算計上分(450万円×536人分)に追加。独居の要介護度3~5(1790人)、高齢者のみ世帯の要介護度5(345人)の入所待ち早期解消めざす。



600施設に200万円を助成し、全産業平均賃金より月10万円も低い介護職員の待遇改善を後押しする。

県独自に140人程度の先生を採用する。

4800人分の施設整備費等を免除する。

2018年度から17校で廃止する夜間給食を復活する。

増額するもの	億円
中学校3年生まで通院医療費助成	31.0
重度障害者(児)医療費助成完全無料化	3.4
特養ホーム建設補助の大幅増額(1600床分を追加)	72.0
介護施設職員待遇改善緊急対策	12.0
小学校4年生と中学校2年生で35人学級実施	11.4
私立高校 年収250万円未満世帯の施設整備費等減免	11.6
定時制高校夜間給食の継続	1.0
<b>増額分の合計</b>	<b>142.4</b>

# 0.82%のチェンジ

**142億4000万円  
予算の組み替え**

**福祉、医療、教育  
をよくする**

**日本共産党の提案です**

2018年度千葉県一般会計総額は、1兆7289億円。そのうち142億4000万円(0.82%)の使い方を変えて県民の生活を支えます

**削る**

国への支払金(直轄負担)の全額(外環道0.7億円、圏央道33.3億円、北千葉道路8.4億円)と、県がつくる北千葉道路建設費の半額9.8億円。



建設中の北千葉道路

金田西地区(7.3億円)、つくばエクスプレス沿線開発20.5億円(運動公園地区7.8億円、柏北部中央地区5億円、木地区7.7億円)



県が一般会計から実際に支払うダム建設の費用(治水分)

7.2億円(26社)のうち新規分(22社)

3つある県立図書館を1つに集約する計画をやめる。

減額するもの	億円
道路ネットワーク事業30カ所事業着手の見直し	5.0
外環、圏央道、北千葉道路の先送り	52.2
港湾事業の圧縮	1.6
土地区画整理事業費の圧縮、先送り	27.8
ハッ場ダム負担の先送り	16.0
過大な土地改良事業の先送り	31.3
農地集積加速化促進事業の見直し・圧縮	0.6
企業立地補助金の圧縮	5.9
市原・鶴舞桜が丘高校統合の凍結など	1.6
新県立図書館基本計画策定事業の中止	0.1
議員の海外調査中止	0.3
<b>減額分の合計</b>	<b>142.4</b>

## 陸自オスプレイ 木更津への暫定配備中止を

3月26日、「防衛省は、陸上自衛隊が2018年度に導入する垂直離着陸機オスプレイ5機を陸自木更津駐屯地に暫定配備する方向で最終調整に入った」と報じられました。

日本共産党は、知事に、国に対して、①陸自オスプレイの木更津への「暫定配備」中止、②米海兵隊オスプレイの撤去、自衛隊オスプレイの運用中止を要求するよう緊急に申し入れました。

木更津駐屯地では米軍オスプレイの定期整備が行われ、今後は陸自オスプレイの定期整備も担う予定です。そこに陸自のオスプレイまでもが配備されれば、千葉県民は、ますます事故の危険や騒音被害にさらされます。

防衛省は、当初、陸自が導入するオスプレイ17機は、2021年度までに佐賀空港に順次配備する計画でしたが、漁協などの強い反対や、今年2月の陸自戦闘ヘリコプターの墜落事故に現地の反発が強まり、同空港への配備計画は見通しが立っていません。

今回の報道を受けて、木更津市長は「大変遺憾で不快、(整備と配備では)次元が違う話、佐賀が駄目だから木更津という理屈もおかしい」と述べたと伝えられています。一方、知事は、「国に守ってくれという以上は、私たちが協力しなければならない」とのべ、配備容認と受け取られても仕方ない姿勢です。



**知事に緊急申し入れ 日本共産党**